

政策調整会議の概要

開催日 令和6年5月9日（木）

◎項 目

- 1 生成 AI について
- 2 令和6年3月分の時間外勤務の状況について

◎内 容

1 生成 AI について【総合企画部】

○デジタル政策課長

生成 AI は、事前に取り込んだ膨大なデータに基づいて文章や画像などを生成する仕組みである。

便利な反面、得られる情報の正確性や、入力した情報がデータに取り込まれることによる情報漏えい等に注意する必要がある。昨年、生成 AI 利用の注意点として「非公開情報を入力しない」「出力内容が不正確、不適切な場合があることを認識する」旨の通知をデジタル政策課から発出している。

業務において生成 AI を有効活用するためには業務情報を生成 AI に入力する必要があり、今年度は、一定の業務情報の入力が可能で、情報漏えい対策が施された、県職員専用の生成 AI 環境を構築したいと考えている。

職員には、ChatGPT 等の有名なサービスに触れてもらって生成 AI の挙動や特性に慣れてもらうとともに、県独自の生成 AI 環境が運用開始となれば積極的に活用してもらいたい。

また、新たにグループウェアのメッセージに「生成 AI 勉強会」チャンネルを開設し、生成 AI の効果的な利用方法や上手な命令文の書き方について意見交換を行っているところ。各部局内においても周知をお願いする。

2 令和6年3月分の時間外勤務の状況について【総務部】

○行政管理課長

令和6年3月の時間外勤務について、本庁・出先機関の総計は前年同期と比較して3.4%増、本庁は4.5%増、出先機関は0.1%増であった。能登半島地震関連の対応や新年度の新規事業準備等によって本庁の時間外勤務が増えている。

4月から3月の年間累計時間外勤務は、本庁・出先機関の総計は昨年度と比較して0.2%増、本庁は5.9%増、出先機関は12.2%減であった。本庁については産業振興計画等、各種計画の改定作業により時間外勤務が増加、出先機関についてはコロナ収束に伴う福祉保健事務所の時間外勤務減少が要因である。

新年度が始まり、年度前半は事業のスタートダッシュや異動したばかりの職員もいて負荷が掛かりやすくなる時期である。管理職は職員の時間外勤務について目配りをするとともに、時間外勤務実績とパソコン使用記録との乖離の確認も引き続きお願いしたい。

なお、昨年度の組合交渉の結果、今年度は一定の時期に5所属程度を抽出し、調査を行うこととなっている。適正な時間管理のために、時間外勤務を命令する際は、正職員や会計年度任用職員も含めて事前の声かけをしていただくとともに、実績を確認して、必要な場合は事後の追命などもお願いしたい。

○副知事

時間外勤務について、各所属長は定期的にチェックし、前月や前年と比べてどうか、どこかに偏りがいないか等を確認して適正な対応をお願いしたい。

○副知事

各部局で色々な協定を結んでいるが、異動を機に担当が変更となっていることもあると思う。今年度は元気な未来創造戦略も作ったので、協定の内容や分野を問わず、県の課題を協定先にも理解していただき、どんなことができるのか、どんなことをしていただけるのか等も含めて関係をしっかり継続、構築していただきたい。

もう1点。先日の2月議会の中で前向きな答弁をしたものがあつたが、最近になって答弁した内容の進捗状況を確認したところ、様々な要因で進め難くなっているといったものがあつた。答弁した以上は約束をしたということにもなってくることから、各部局でも過去1年分くらいの答弁を遡って確認していただき、6月議会に向けて進捗状況等の確認整理をお願いしたい。